

公衆衛生 第34巻 総目次

(1970年 第1号—第12号)

人とことば

- 公衆衛生は地域組織活動の核心…安部 弘毅……1(1)
留学当時……緒方 益雄……5(2)
公衆衛生担当者に一言……笹田 衛……1(3)
人命尊重について思うこと……三浦 運一……1(4)
公衆衛生活動における民間団体の位置
……森下 薫……1(5)
健康の定義について……塚原 国雄……1(6)
疫学調査は犯罪捜査より難しい…落合国太郎……1(7)
衛生民度……永田 捷一……5(8)
L.Phelps氏の衛生統計への貢献…渡辺 定……1(9)
衛生教育発達の“壁”……福田 邦三……1(10)
衛生学の意義……吉岡 博人……1(11)

グラフ

- 神奈川県公衆衛生活動……1(2)
脳卒中追放をめざす……1(8)

座談会

- 地域精神衛生活動と保健所……2(3)
沼口 深秋・塩沢 満・真野元四郎
上村 聖恵・橋本 正己
集団給食の食品衛生……2(6)
小谷新太郎・高橋 泰二・川谷 勝哉
宮川 哲子・新沼 悦子・西川 眞八
地域保健協議会の設立と公衆衛生活動……6(8)
吉本 富雄・黒川 一男・石川 芳男
鷺谷嘉兵衛・木村 亮蔵・小玉 秀雄
鈴木 尚夫・武田 暢・堀江 友男
環境汚染への挑戦……2(11)
橋本 道夫・西川 眞八・山下 章
長谷川 泉

主張

- 公衆衛生に望む……鈴木平三郎……3(3)
偶 感……はやし 秀……2(4)
働く妊産婦の保健対策……森山 豊……2(5)
公衆衛生活動の反省と展望……橋本 正己……2(7)
老人問題のなかの保健……山下 章……2(9)

特 集

公衆衛生活動の将来像

- 公衆衛生政策の基本的課題…厚生科学研究班……4(1)
公衆衛生基本法(大綱)をよんで
(1)……谷 修一……13(1)
(2)……正岡 和……15(1)

住民運動と公衆衛生活動従事者の役割

- ……青山英康・他……17(1)

地域保健と医科大学との連繫についての問題点

- ……乗木 秀夫……22(1)

地域公衆衛生活動近代化のあゆみ(神奈川県)

過密地域における保健管理体制の現状と将来構想

- ……須川 豊……7(2)

対人保健サービスの組織的展開の例としての

- 母子保健対策……前田 実……19(2)

- 医療行政の具体的な施策から…大谷昌美・他……24(2)

- 生活環境施策の具体例から…安方魁人・他……28(2)

学童の保健

- 学童の保健管理……船川 幡夫……4(4)

- 団地と子ども……高橋悦二郎……9(4)

- 登校拒否児……玉井 収介……13(4)

- 近隣づきあいと子どものしつけ…山根 薫……17(4)

大気汚染の児童への影響とその対策

- ……吉田 亮・他……21(4)

- 農村地域の子どもの学校保健…吉田瑩一郎……30(4)

勤労婦人の保健

- 勤労婦人の健康障害と問題点……山下 章……4(5)

- 勤労婦人の妊娠分娩障害……佐道 正彦……10(5)

事業所における勤労婦人の健康管理

- ……前原 大作……17(5)

- 単調労働と健康障害の問題点……小山内 博……21(5)

- 婦人の貧血……古谷 博……25(5)

60年代から70年代へ

- 衛生行政のトピックスを拾う……若松 栄一……4(7)

- 労働衛生の変貌……三浦 豊彦……12(7)

- 伝染病対策……金子 義徳……18(7)

- 癌対策の現状と今後……瀬木三雄・他……22(7)

- 成人病……小野 喜男……28(7)

- 精神衛生……小坂 英世……32(7)

60年代の環境衛生行政のあゆみ…三浦 大助	38(7)
70年代の公衆衛生学に要請されるもの	
……………東田 敏夫	46(7)

秋田県の公衆衛生活動

農村の生活と地域保健活動……………立身 政一	21(8)
健康意識の今昔談……………児玉栄一郎	26(8)
生活環境の改善……………武田 暢	30(8)
脳卒中予防へスタートをきった秋田県の公衆衛生活動	
……………鈴木 尚夫	33(8)
医療施設の整備と人員の充足……………小玉 秀雄	41(8)

老人保健

日本の生活と老人の保健問題……………佐藤 徳郎	4(9)
老人医療と健康管理……………小山 路男	9(9)
在宅老人の諸問題……………磯 典理	14(9)
老人の自殺と事故……………村井 隆重	23(9)
先進諸国の老人対策の教訓……………吉田寿三郎	30(9)
老人保健一事例と感想……………深瀬須加子	36(9)

衛生教育の転換

あすの衛生教育を模索して……………橋本 正己	2(10)
衛生教育の国際情勢……………山本 幹夫	3(10)
急激に工業化した大都市の衛生教育	
……………伊予部倫司	9(10)

離島・へき地をかかえる地方の衛生教育

……………添川 忠芳	17(10)
提言・70年代の衛生教育……………石垣純二・他	22(10)
フィンランドの衛生教育……………相磯富士雄	36(10)

ビルの衛生管理

「建築物における衛生的環境の確保に関する法律」	
の概要……………小川 博	11(11)
ビルの衛生工学……………吉沢 晋	17(11)
ビル環境と人体……………長田 泰公	24(11)
ビルの給排水……………森村 武雄	30(11)
ビルのネズミ・害虫……………緒方 一喜	35(11)
ビルのゴミの処理……………河西 晃	39(11)

第11回社会医学研究会

住民との信頼ある絆を……………若月 俊一	1(12)
日本農業の長期展望……………大谷 省三	2(12)
演題一覧……………	9(12)
地域の保健活動をどう進めるか	
地域医療における保健婦の主体的役割	
……………奈倉道隆・他	10(12)
健康管理活動の経過とその評価	
……………若月俊一・他	15(12)
住民運動における医療従事者の役割	
……………庄司 光・他	18(12)

独占体制における「自治体」の功罪と科学者・

保健衛生従事者の役割……………東田敏夫・他	22(12)
革新首長下における保健行政……………木下 安子	28(12)
変貌する農山漁村	
農家主婦の健康実態……………大平昌彦・他	30(12)
内職工場通いと出稼ぎの実態……………原 一郎・他	33(12)
農山村における職業病……………井上 俊・他	37(12)
機械化農業の周辺……………金子 勇・他	42(12)
農村医学と労働医学の交流……………原 一郎	47(12)
医学と社会	
医学者の社会的責務……………丸山 博・他	48(12)
「森永砒素ミルク中毒事件」をめぐって	
……………相磯富士雄・他	51(12)
自由な参加, 討論のなかから明日の活動を	
……………青山 英康	56(12)
看護協会の民主化をめぐって……………山本 裕子	61(12)

講座・地域保健活動

地域保健活動の考え方・進め方……………橋本 正己	38(4)
宮黒保健所管内の僻地医療……………小島 武雄	25(6)
保健補導員組織との連携による健康対策事業の推進	
……………大峽美代志	50(8)
自主的活動に支えられた地域保健活動	
……………園田 恭一	42(10)

海外の医学教育

イタリアの医学教育(1)……………保刈 成男	35(1)
”(2)……………高島 久	50(2)
韓国の医学教育……………趙 大喆	40(3)
台湾の医学教育……………柯 源郷	43(4)
エチオピアの医学教育……………鈴木 了司	33(5)
ドイツ民主共和国の医学教育……………後藤 稔	57(8)
西ドイツの医学教育……………柳沢 文憲	47(10)

研究・資料・論稿

ビルマにおける痘瘡の流行と根絶計画の	
進展について(2)……………黒子 武道	48(1)
仙台市に多発した腸チフスについて	
……………腸チフス中央調査委員会	53(1)
自動車排気ガス汚染防止対策について	
……………関 敏彦・他	56(1)
船員の肺結核の現状と問題点……………土屋 真・他	60(1)
流行病調査演習の1事例……………谷 修一・他	63(2)
農村婦人の貧血に関する実態……………内田昭夫・他	20(3)
在宅脳卒中後遺症患者の実態調査と	

リハビリテーション指導……………坂田 沢司……28(3)	
新潟県における脳卒中後遺症の実態	
……………伊藤雅治・他……32(3)	
過去10年間フィールドの実績からみた	
大都市結核の展望……………水原 完……52(3)	
高血圧の疫学的研究……………桑原丙午生・他……57(4)	
大気汚染と肺外疾患……………江波戸俊弥・他……40(5)	
甲状腺機能亢進症に関する疫学的調査研究	
……………丸地信弘・他……50(5)	
長崎県対馬における腸チフス流行	
……………腸チフス中央調査委員会……56(5)	
工場給食における調理作業員の手指	
および調理器具の衛生管理……………河野欽次・他……11(6)	
過密住居と蟻虫症の実態……………黒野俊弼・他……38(6)	
ある検病調査から……………小川 和栄……42(6)	
腸チフスパラチフス管理報告	
……………腸チフス中央調査委員会……46(6)	
青年の健康状態に関する研究……………河野俊一・他……51(6)	
老人のケアに関する事例調査と考察	
……………阿武喜久子・他……44(9)	
環境汚染の総合評価に関する1試案	
……………西田耕之助・他……51(9)	
健康の定義について……………内海 和雄……58(10)	
眼底所見による高血圧対策の効果	
……………新井宏朋・他……55(11)	

特 別 連 載

米国における保健医療体系の苦悩ならびに	
医師・歯科医師・看護婦の深刻な不足とその対策	
……………石戸 利貞・他……44(1), 58(2)	
……………47(3), 58(6)	
エドウィン・チャドウィックの業績とその	
今日的意義……………橋本 正己……25(1), 36(2)	

海外事情・海外印象記

アメリカにおける地域精神衛生活動	
……………増田 陸郎……13(3)	
ラテンアメリカ式保健計画について	
……………長谷川 豊……51(4)	
シカゴ市衛生局について……………藤野 保次……56(4)	
欧米の集団給食とダイテシアンの活動	
……………桑原丙午生……15(6)	
アメリカの学校給食……………甲賀 正亥……21(6)	
英国の医療公衆衛生事情……………小畑美知夫……50(11)	

厚生だより

いわゆる SMON について……………63(1)	
医療費引き上げについて……………63(4)	
公害にかかわる健康被害の救済に	
関する特別措置法……………36(6)	
新経済社会発展計画と厚生行政……………37(6)	
B C G 接種定期化に関する研究について……………63(7)	
母子栄養指導の確立について……………63(8)	
鉛による大気汚染の防止対策について……………61(9)	
第3回歯科疾患実態調査の概要について……………61(10)	
予防接種事故に関する措置について……………49(11)	
ベーチェット症候群について……………63(12)	

そ の 他

教室めぐり

横浜市立大学・公衆衛生学教室……………穴戸 昌夫……41(1)	
新潟大学・公衆衛生学教室……………須永 寛……55(2)	
千葉大学・公衆衛生学教室……………吉田 亮……46(3)	
大阪大学・公衆衛生学教室……………木村 慶……50(4)	
順天堂大学・公衆衛生学教室……………千葉 裕典……37(5)	
群馬大学・公衆衛生学教室……………辻 達彦……33(6)	
熊本大学・公衆衛生学教室……………野村 茂……58(7)	
札幌医大・公衆衛生学教室……………岡田 晃……61(8)	
徳島大学・公衆衛生学教室……………福井 忠孝……42(9)	
東邦大学・公衆衛生学教室……………金子 義徳……55(10)	

私たちの保健所

愛知県・刈谷保健所……………藤岡 浜夫……42(1)	
千葉県・松尾保健所……………谷 修一……56(2)	
岡山県・玉野保健所……………若林 昌平……44(3)	
沖縄・那覇保健所……………伊波 茂雄……48(4)	
青森県・八戸保健所……………天野 正也……38(5)	
大阪府・富田林保健所……………井田 直美……39(5)	
大阪府・西成保健所……………橋本 博……34(6)	
北海道・旭川保健所……………清水 敏……56(7)	
兵庫県・赤穂保健所……………鳥谷虎一郎……57(7)	
秋田県・大館保健所……………猪野 達夫……62(8)	
岐阜県・大垣保健所……………臼井 治郎……40(9)	
千葉県・習志野保健所……………沖山鎌三郎……41(9)	
岩手県・宮古保健所……………庄司 三郎……53(10)	
京都府・伏見保健所……………合田 博……46(11)	

学会印象記

第4回国際農村医学会に参加して	
……………上田 喜一……33(1)	
第27回日本公衆衛生学会……………川森 正夫……44(2)	

問われる学会のあり方……………相磯富士雄……………48(2)	
山場をなした Cd 中毒の演題……………小机 弘之……………31(6)	
第 43 回産業医学会の印象……………川森 正夫……………59(7)	
第 45 回東京都衛生局学会……………荻村 正男……………56(10)	
実質を問われる衛生教育……………相磯富士雄……………41(10)	
モニター・レポート (北から南から)	
第 3 回岐阜市衛生部職員研修会開かる……………12(1)	
第 14 回岐阜県公衆衛生研修会開かる……………16(4)	
森永ミルク中毒事件その後……………37(4)	
有毒じゃがいも……………24(6)	
岐阜市北保健所管内の地区組織	
希望の 2 年目を迎える……………11(7)	
岐阜県精神衛生協会……………25(8)	
産業医学会レポート……………49(8)	
第 28 回日本公衆衛生学会の準備進む……………35(9)	
「森永ヒ素ミルク中毒事件」その後の動き……………62(9)	
山口県公衆衛生協会長野瀬氏に決定……………16(10)	
第 9 回保健衛生夏季大学……………40(10)	

岐阜県ワクチン接種で協議……………54(10)	
第 19 回北海道公衆衛生大会開かれる……………16(11)	
夏季講座に新風……………23(11)	
第 1 回宇和町合同婦人大会……………54(11)	
岐阜市中央保健所, 成人病モデル地区に本腰を ……………8(12)	

私の意見

住民検査センターの考え……………津田 順吉……………63(3)	
田舎開業医のみた基本大綱……………津田 順吉……………57(6)	
田舎開業医のみた若松氏の論文……………津田 順吉……………62(10)	

書評

婦人労働……………山下 章……………16(5)	
乳幼児健康診査の実際……………宇留野勝正……………26(7)	
小児の情緒障害……………玉井 収介……………63(9)	
三歳児 (第 2 版) ………………清水 寛……………55(12)	

資料

医療施設の動向……………47(11)	
--------------------	--

新しい救急活動の実際

新刊

鈴木又七郎 医学博士

救急活動のあらゆるケースを実際的に解説

この書はいわば, 諸外国で学んだ救急活動と, 筆者の体験との結実であり, それにわが国の権威ある諸先生の著書と論文から, 多くの教えをいただいている。ここで特につけ加えておきたいことは, Dr. Albrecht と Dr. Ahnefeld 両博士の新しい原著を根幹として, 新鮮味を加えたことである。

救急体制の強化は, いつに第 1 線の洗練された救急活動で決定される。そして優秀な救急活動の基礎は, 新しい教育指導によるものと信じている。

時代の進歩は必ず新しい事態を発生し, 新しい事態には必ず変化した傷病を発生することを銘記しよう。だからこれに対処する救急活動もまた, 漸進しなければならないのである。

本書を書いた目標は, 以上述べてきた点に重点を注いだつもりである。救護関係に活躍される方々の必読を願い, また教育指導に立たれる先輩諸先生の, 教材の一部にでもなれば幸である。

(本書序文より抜粋)

〔主要内容〕 救急処置と救急活動
いろいろな基礎問題・傷病者の輸送
について・出血と救急・救急蘇生法
各種の疾患と救急 物理的およびそ
他の原因によるもの・骨折と救急

・脳出血と救急・頭部の外傷と救急
・胸部損傷と救急・頸部の損傷と救
急・腹部の損傷と救急・顔面の損傷
と救急

■B6 頁198 図62 1969
¥900 円70



医書出版
洋書輸入

医学書院

1113-91

東京・文京・本郷 5-29-11 電話東京 (03) 811-1101 振替東京 96693